

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード	1-2-1		事業名	新しいタイプの定時制高校「市立札幌大通高等学校」の設置
担当	教育委員会学校教育推進課企画担当 村上 Tel 211-3838			
全体計画				
事業内容	札幌市立高等学校教育改革推進計画に基づき、現在ある市立高等学校4校(星園、新川、平岸、啓北商業)の定時制課程を発展的に再編し、午前、午後、夜間の三部制や単位制を取り入れた新しいタイプの定時制高校(市立札幌大通高等学校)を旧大通小学校跡地に新設する。 平成20年度、旧大通小学校校舎を活用して開校、平成21年度内に新校舎完成、平成22年度新校舎への移転を予定している。 校舎の建設等については、民間の活用を進め、設計、建築、維持管理等の事業全体に係る経費の縮減を図るため、PFI手法を導入する。		＜年度別の事業内容＞	
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成19年度 PFI事業者の選定、暫定校舎の改修工事、新校舎の設計協議(PFI事業)、市立学校設置条例の改正、学校設置認可申請、市立高等学校学則の改正、教育内容の決定、生徒募集PR、入学者選抜の実施、科目履修生制度の検討など</li> <li>・平成20年度 新定時制高校開校、新校舎建築工事(PFI事業)</li> <li>・平成21年度(末) 新校舎竣工、暫定校舎から新校舎へ生徒引越し</li> <li>・平成22年度 既存4校の統合(普通科3校の4年生は新定時制高校へ転校、商業科1校の4年生は新校舎へ校舎移転)</li> </ul>	
事業内容・量・場所	平成19年度事業内容(決算)		平成20年度事業内容(決算)	
	PFI事業アドバイザー業務 9,418千円 事業者選定委員会委員報酬 302千円 初度調弁 101,250千円 旧大通小学校改修 34,249千円		PFI事業アドバイザー業務 3,360千円	
規模・件数等	平成21年度事業内容(決算)		平成22年度事業内容(予算)	
	大通高校及び中央幼稚園整備等事業 2,271,949千円 PFI事業アドバイザー業務 4,935千円 初度調弁 93,984千円 物品移動 6,418千円		大通高校及び中央幼稚園整備等事業 213,465千円 グラウンド緑化 3,123千円 太陽光パネル設置 50,472千円 旧定時制高等学校改修 38,940千円	

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-2-1			事業名	新しいタイプの定時制高校「市立札幌大通高等学校」の設置		
達成目標の状況							
項目	18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)	22年度末 (目 標)	
市立札幌大通高等学校の開設	－	準備	開設			開設 (20年度)	
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>■市民との連携、市民参加 ホームページなどにより市民への情報提供を積極的に行う。 また、暫定校舎の解体工事期間中の諸問題や学校運営に関して近隣地域に係わる事柄に関することについて、近隣地域と協議・意見交換などを行い、円滑な学校運営を行っていく。 さらに、市民が主体となる「さっぽろ市民カレッジ講座」への校舎供用や、生徒参加による相互協力を通じ開かれた学校づくりに取り組む。</p> <p>■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし)</p> <p>■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)</p>							
評価(成果)			課題				
<ul style="list-style-type: none"> <li>暫定校舎の改修工事を実施した。</li> <li>事業者選定委員会によりPFI事業者が選定された。</li> <li>事業者と特定事業契約を締結した。</li> <li>新校舎の設計協議を行った。</li> <li>開校準備室に専任の教職員が常駐し、開校準備業務を行った。</li> <li>市立学校設置条例を改正し、20年4月に暫定校舎において、市立札幌大通高等学校を開設した。</li> <li>新校舎及び併設の札幌市立中央幼稚園新園舎をPFI手法により整備、22年2月に竣工した。</li> </ul>			<p>大通高校新校舎に関するPFI事業者との調整業務を密に行う必要がある。</p> <p>また、暫定校舎の解体工事や学校運営等に関し、近隣地域の理解・協力が必要であることから、情報提供や協議を必要に応じて行っていく必要がある。(工事以外の生徒指導等に関する事柄は基本的には学校が対応することになるが、教育委員会は学校をサポートする立場で関わる事が想定される。)</p> <p>大通高校については、20年度は1学年のみ、21年度は1,2学年であり、22年度に他定時制から転校してくる生徒を含めて4学年となった。</p> <p>統合前の定時制課程と生徒定員総数は変わらないが、大通高校については、入学者が定員を満たしており、市立高校定時制課程の在籍生徒総数は増加している。</p> <p>これらの理由により、今後においても、円滑な学校運営ができるよう、在籍生徒総数に応じた予算確保について考えていく必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
<p>大通高校では、地域に開かれた学校づくりを進めるため、22年4月の新校舎供用開始に併せ、新校舎の施設の一部を市民に開放する。これについて、PFI事業者が、利用者などの「市民開放施設管理運営業務」を行うこととなるが、利用者の利便性の向上を図ることができるよう、PFI事業者との連絡調整を行いながら、スムーズな実施に努める。</p> <p>教育内容等に関しては、多様な生徒の学習ニーズに対応した特色ある教育活動の推進を図るとともに、学校の教育機能の地域社会への提供の観点から、学校運営上、支障のない範囲で、一部の科目の学習を希望する社会人を聴講生として受け入れる「科目履修生制度」(平成21年度後期から本格実施。)を、引き続き実施していく。</p> <p>また、札幌市生涯学習センターと連携し、生徒と市民と一緒に学ぶ「さっぽろ市民カレッジ講座」(アイヌ文化入門講座等を開催予定)の実施など、開かれた学校づくりに向けて取組を進める。</p>							

## 平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その3) (単位:千円)

施策体系コード		1-2-1			事業名	新しいタイプの定時制高校「市立札幌大通高等学校」の設置					
事業費の推移											
項目		19年度		20年度		21年度		22年度		計	
計画	事業費	156,400		4,000		2,250,932		258,668		2,670,000	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		38,430		0		38,430
		市の債	0		0		1,736,000		0		1,736,000
		その他の	0		0		0		0		0
	一般財源	156,400		4,000		476,502		258,668		895,570	
予算	事業費	156,400		3,400		2,453,000		306,000		2,918,800	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		38,464		0		38,464
		市の債	0		0		1,200,000		45,000		1,245,000
		その他の	0		0		0		0		0
	一般財源	156,400		3,400		1,214,536		261,000		1,635,336	
実績	事業費	145,219		3,360		2,377,286		-		2,525,865	
	財源内訳	国・道支出金	0		0		76,891				76,891
		市の債	0		0		1,200,000				1,200,000
		その他の	0		0		0				0
	一般財源	145,219		3,360		1,100,395				1,248,974	
事業費の進捗率		(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費) 106.1%									
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)											
《全体》											
[19年度]											
[20年度]											
[21年度]											
[22年度]											